

西川町 議会だより

2021

No.116

4.15

月山の春がやってきた

いきいきと暮らせる町に……………	2頁
対策を迅速に……………	4
誰のための何のための予算なのかを問う…	6
議場でもう一步踏み込んで問う……………	8
6人の議員が町政をただす……………	10
取組みのその後を確認……………	18
オンラインの可能性を探る……………	19
知りたい！聞きたい！……………	20

4月10日の月山スキー場オープンに向けて除雪作業が進む姥沢駐車場です。重機の轟音ごうおんは月山の春の風物詩でもあります。晴天のこの日は月山や姥ヶ岳が一層輝いていました。



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和3年第1回定例会に提出された主な議案

【人事案、条例案等】

議案番号	件名	議案の主な内容
同意第1号	教育委員会教育長の任命	伊藤功教育長の任期満了に伴い、後任として前田雅孝さん（睦合）を任命する。
議第2号	町道路線の廃止及び認定	町道太郎・網取線の海味地内の起点を国道112号に接続するため、同路線をいったん廃止し、改めて認定する。
議第3号	町いじめ問題調査委員会条例の設定	町いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題調査委員会を設置するため条例を新設する。
議第4号	用品調達基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の設定	事務用品等購入の現状を踏まえ、事務の円滑化、効率化のために実施していた用品の集中購買を廃止する。
議第5号	町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	道路法施行令の一部改正に伴い、本町の道路占用料及び行政財産の使用料の額を改定する。
議第6号	町都市公園条例の一部を改正する条例の制定	寒河江ダム公園、寒河江ダムスポーツ広場、大井沢河川公園を新たな都市公園として指定する。
議第7号	介護保険条例の一部を改正する条例の制定	3年度からの第8期介護保険事業計画期間の介護保険料を定める。
議第8号	町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の設定	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、規定の整備を図る。
議第9号	町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部を改正する条例の制定	会計処理上において年度内の基金積立が必要なため本条例の施行期日を改める。
議第25号	町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	財政状況を考慮して3年4月1日から1年間、町長、副町長及び教育長の給料をそれぞれ10%、5%、3%減額する。
請願第1号	「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現」を求めることに関する請願書 ⇒ 継続審査とし第2回定例会へ	
請願第2号	「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願 ⇒ 賛成少数で不採択（賛成者：佐藤光康議員、佐藤幸吉議員）	

注目2

【令和2年度各会計補正予算】

（万円単位表示にするため千円以下の端数を調整）

議案番号	会計	補正の主な内容（▲印は減額）	補正額	補正後の予算額
議第10号	一般会計（第10号）	新型コロナウイルス感染症対策 1091万円 豪雨災害対策 ▲2億1262万円 ※3年度への繰越分も含む 上記以外 ▲3114万円	▲2億3285万円	64億5294万円
議第11号	国民健康保険特別会計（第3号）	一般被保険者療養給付費 3000万円 上記以外 ▲46万円	2954万円	6億7123万円
議第12号	公共下水道事業特別会計（第3号）	各種業務委託料 2165万円	2165万円	2億822万円
議第13号	農業集落排水事業特別会計（第2号）	水位計更新工事 28万円	28万円	2925万円
議第14号	病院事業会計（第3号） ※収益的収支	オンライン資格確認用備品 39万円 医事会計システム改修費 170万円	209万円	7億4647万円
議第26号	一般会計（第11号）	町道除雪委託料 5000万円	5000万円	65億294万円
議第27号	水道事業会計（第2号）	営業費用380万円を減額し特別損失に380万円を追加	-	2億1306万円
議第28号	国民健康保険特別会計（第4号）	直営診療施設勘定繰出金 138万円	138万円	6億7261万円
議第29号	病院事業会計（第4号） ※資本的収支	CT装置購入補助金増額 112万円	112万円	1844万円

注目1

対策を迅速に

注目1



3月2日



3月11日

新型コロナウイルス感染症対策や豪雨災害対策などの関係で、2年度の一般会計補正予算は今定例会までで11回にも及びました。その結果、47億7500万円だった当初予算額は最終的に約1.36倍の65億294万円まで増えました。

いずれも町民の皆さまの生活を守るために必要なものであり、国の動きに応じて迅速な判断を求められる中、議会としても、緊急性を十分に考慮して審議しました。ここでは、今定例会における補正予算に関する質疑の内容の一部を紹介いたします。

令和3年第1回定例会

令和3年第1回定例会では、町から3年度各会計予算（10会計）のほか、人事案、条例案、補正予算案など29議案が提出され、慎重に審議した結果、全て全員賛成で可決しました。

一般質問は6人の議員が9件について行いました。また、請願は1件を継続審査とし、もう1件を不採択としました。

聖火リレーの経費

問 オリンピック聖火リレー西川町実行委員会負担金は、2年度補正予算で300万円減額し、3年度当初予算に250万円計上しています。50万円の減額の理由は何ですか。

答 延期となった聖火リレーを3年度に開催するにあたり、役場前でのステージイベントの内容を精査した結果です。

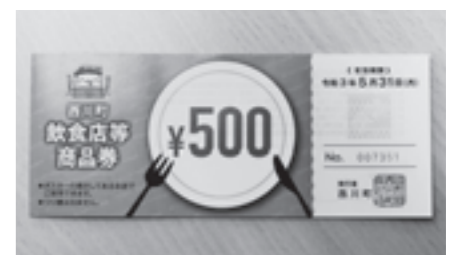
▶2月に西川交流センターあいべに展示された聖火トーチ



商品券の発行補助

問 プレミアム付商品券発行補助金400万円を2年度補正予算で追加し、3年度へ繰り越します。いつ配布するのですか。

答 3月に配布した飲食店等商品券の使用期限を5月末としており、その流れに続く形で5月の連休明けに配布する予定です。



▲飲食店等商品券の利用は5月末まで

注目2

「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願に関する討論

佐藤光康議員

消費税増税は、景気を大きく悪化させ、さらに新型コロナウイルス感染症拡大が追い打ちをかけて失業や貧困が大きな問題になっています。その一方で、日本の富裕層の資産総額は12.2兆円から24.4兆円へと2倍に増えています。企業は巨額の内部留保をため込んでいます。こういう人たちにこそ応分の負担をしてもらう必要があります。消費税5%以下への引き下げは一人ひとりの切実な願いであり、請願に賛成します。

菅野邦比克議員

税率引き上げの際、消費税の用途は年金や医療、介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費に充てると明確化されました。税率を1%下げると2兆7500億円、5%引き下げると13兆7500億円の減収になり社会保障の維持ができなくなります。その財源不足分を毎年国債発行で賄った場合、次世代に大きな負担を強いることになりかねません。このことから請願に反対します。

討論

誰のための何のための 予算なのかを

問う

令和3年度の各会計予算は、予算特別委員会(議長を除く8人の議員で構成)での審査に付託されました。
 予算特別委員会では、3月2日から3日間にわたり各課の予算説明を受け、質疑を行いました。その主な内容を紹介します。

予算 令和3年度会計 特別委員会 【担当課説明】

衆議院議員選挙費

問 衆議院議員選挙の期日前投票や投票事務に関する職員の時給外手当等280万円を計上しています。期日前投票が定着してきていることを考慮すると、投票終了時刻を午後8時から1時間繰り上げて良いのではないですか。

答 総務課
3年度中に町民の皆さまのご意見を聞きながら、投票票日当日の投票終了時刻を繰り上げる方向で選挙管理委員会と協議したいと思います。



▶1月の県知事選挙の開票作業

遭難対策の担い手

問 月山朝日山岳遭難対策委員会の各隊の隊員として活動できる人数が74人との説明ですが、各隊とも隊員の高齢化が進んでいます。実際に山に入らざる活動できる実質的な人数を把握していますか。

答 総務課
隊員の高齢化は認識しており、地元の方だけでなく山に造詣の深い方に協力をお願いしたりしながら、一定程度の隊員の確保に努めています。



▶朝日連峰などでの捜索も求められる

地域づくり活動支援

問 集落支援員の役割は、これまでのように特定の地域を支援するというものではないのですか。

答 政策推進課
集落支援員の各地域への配置を協議しましたが、町として統一した仕組みを構築できませんでした。しかし、地域づくりは町の振興の根幹であり、今後町がどのように支援すべきか、方向性を示す必要がありまます。その基礎となる調査活動や実験的な支援活動を担っていただきます。



▶吉川地区の集落支援員が発行していた通信

まちづくり応援団

問 昨年度より予算を減額していますが、今後の活動方針をどのように考えていますか。

答 政策推進課
2年度は、団員の固定化や高齢化が進んだ上に、コロナ禍の影響で想定していた活動ができませんでした。3年度は、発足当初のねらいを踏まえた上で継続すべきところを残しつつ、町への提言などをいただく、比較的若い世代のコア(核)集団づくりなども手がけていきたいと考えています。



▶平成30年度東北ブロック総会であいさつに立つ町長

産業振興施設の管理

問 水沢温泉館と大井沢温泉館の指定管理に関する委託料を増額していますが、これはコロナ禍の影響を考慮した3年度のみのも増額ですか。

答 産業振興課
コロナ禍の影響で、2年度の収入について、元年度と比べて水沢温泉館が55パーセント、大井沢温泉館が88パーセントとなっています。3年度もこの状況が続くものと想定し、収入減の分を増額しました。



▶大規模改修も待たれる水沢温泉館

観光情報の発信

問 SNSを活用した情報発信がますます重要になってくる中、関連予算も多少計上していますが、今後どのように取り組んでいきますか。

答 商工観光課
SNSの専門家からアドバイスを受け、フェイスブック等で動画を活用します。主に仙台圏をターゲットに紙媒体も含め情報発信を積極的に行います。



▶町公式フェイスブックのトップページ

ボランティアコーディネーター

問 社会福祉協議会運営費補助とは別に、事業補助金として400万円を計上していますが、どのような内容ですか。

答 健康福祉課
ボランティアコーディネーター事業補助として、社会福祉協議会がボランティア組織の育成や研修に必要な事業を行うために補助しているものです。その事業を担当する職員の人件費相当分です。



▶ボランティアコーディネーター事業として令和元年度に行われた手話教室

寒河江ダム周辺

問 水の文化館を町直営管理にすることで、どれくらいの経費削減になりますか。

答 建設水道課
木造の売店とトイレのみの営業となりまます。これまでの指定管理料の減に対し、トイレの管理委託、月山湖大噴水の運営、燃料代その他の光熱費を差し引くと、予算上は約760万円の削減になるものと思います。



▶今後の活用が不明な水の文化館

中学生受験対策

問 中学生の受験対策講座は学校の先生方からの要望によるものですか。また、どのような内容の講座を考えていますか。

答 学校教育課
教育委員会からの提案として、塾等に通えない生徒への対応も考慮し行うものです。夏休み中に、半日ずつ2コマで3日間行い、2クラスに分けて数学と英語の集中的な講座を行います。



▶西川中学校の教室

安中坊別当屋敷跡整備

問 整備費1700万円を計上していますが、駐車場の整備や来年のNHK大河ドラマに向けた広報をどのように考えていますか。

答 生涯学習課
周辺が遺跡になっていて自由に整備できないため、当面は榊米月山の前や歴史文化資料館の駐車場を利用させていただくこととなります。広報に関しては予算成立後にのぼり等を整備して行います。



▶吉川地区の方々が草刈りなどの整備を行なっている安中坊別当屋敷跡

議場でもう一步 踏み込んで 問う



3月10日、議場で予算特別委員会を開催し、令和3年度の各会計予算の審査、採決を行いました。主な質疑の内容などを紹介します。

予算 令和3年度会計 特別委員会 【審議・採決】

▶宮城県利府町役場に併設されている交流施設



問 取組みの中心人物が地域おこし協力隊の任期を終えて町を離れます。3年度は会計年度任用職員4名で対応するそうですが、それで大丈夫ですか。

答 政策推進課 専任者を1人置き、自然と匠の伝承館や自然博物館のスタッフが一緒に運営にあたります。プログラムやノウハウは残っており、地元の大井沢地域と連携しながら、特に3年度は地域行事との関わりを検討しています。

▶こういう光景が教室でも当たり前に



問 3年度はまだ使わないそうですが、小中学生に配布する情報端末でデジタル教科書を利用する場合は、各家庭の通信環境が確保されなければなりません。その状況把握をしていますか。

答 教育委員会 コロナ禍による休校の際にオンライン学習を実施するにあたって、簡易アンケートは行なっています。デジタル教科書の利用にはWiFi環境が必要であり、必要保護のご家庭などにも検討しています。

▶西川小6年生の修学旅行での外国語研修



問 町が英語教育に力を入れるのは、単に国から求められているためですか。

答 教育委員会 国の学習指導要領により小学生の英語が必須となり、6年生は年間70時間です。その目的は、グローバル化の進展に伴う外国語によるコミュニケーション能力の向上です。町は国の方向性に従いながら、保小中一貫教育を活用して保育園の頃から英語を体験できるように取り組んでいます。

コミュニティスペース

問 みどり団地の2期工事に関して、以前から提案しているお母さんたちが集まれるコミュニティスペースやカフェなどを建設する計画はないのですか。

答 政策推進課 カフェと何らかの施設の複合型で検討した経緯はありますが、用地が手狭だということと具体的な結論に至らず、見送りました。財源の課題もあり、定住人口と居住スペースの確保を最優先したところです。

教育のオンライン化

問 3年度はまだ使わないそうですが、小中学生に配布する情報端末でデジタル教科書を利用する場合は、各家庭の通信環境が確保されなければなりません。その状況把握をしていますか。

答 教育委員会 コロナ禍による休校の際にオンライン学習を実施するにあたって、簡易アンケートは行なっています。デジタル教科書の利用にはWiFi環境が必要であり、必要保護のご家庭などにも検討しています。

英語教育の推進

問 町が英語教育に力を入れるのは、単に国から求められているためですか。

答 教育委員会 国の学習指導要領により小学生の英語が必須となり、6年生は年間70時間です。その目的は、グローバル化の進展に伴う外国語によるコミュニケーション能力の向上です。町は国の方向性に従いながら、保小中一貫教育を活用して保育園の頃から英語を体験できるように取り組んでいます。

自然教育学習センター



▶昨年10月に行われた茅の家づくり

問 3年度は1人のみの募集となつていますが、政策提言の際は農業関係と飲食関係も募集したいという話でした。定住人口の確保へとつなげていくのに、1人だけの募集で良いのですか。

答 政策推進課 農業以外にも観光や商工などの分野を検討し、3年度は観光協会で活動している1人と、新規の隊員の2人体制とすることにしました。

地域おこし協力隊



▶地域おこし協力隊員が中心となつて実施されていた自然教育学習センターの事業

問 3年度から婚活推進事業の所管が健康福祉課から政策推進課に変わり、イベントも増えるようですが、対応する職員体制は大丈夫ですか。

答 政策推進課 アプリの利用料を町が負担して町民の利用を後押ししたり、婚活イベントを実施したりする予定です。これらのノウハウは民間事業者からの支援を受けるため、職員の負担はそれほどでもないと考えています。

婚活推進事業見直し



▶どこまで関わるべきなのか

問 路線バスやスクーリングバス、デマンドタクシーなどを組み合わせ、町民の動きやすい環境を作ることが求められていますが、どのように考えていますか。

答 町民税務課 デマンドの実証実験の評価を踏まえ、公共交通網のあり方についてアドバイザーを含め関係者と早期に協議します。その上で地域公共交通計画を策定し、4年度からの運行につなげていきたいと考えています。

公共交通網のあり方



▶路線バス

問 県は0〜2歳児の保育料を段階的に無料化するとしていますが、町はどのように対応しますか。

答 健康福祉課 県から説明があった2月の時点で、すでに町の予算は固まっております。実施する場合は補正予算を組まざるを得ません。ただ、自宅でお子さんを養育されている方もいらっしゃる一方で、不公平にならないようバランスも考慮しなければならぬと考えています。

保育料負担の軽減



▶幸せな生活へのサポートを

本会議及び予算特別委員会における会計毎の採決の状況

会計	認定の状況			
	本会議	議案番号	採決結果	
一般会計	議第15号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)	
特別会計	国民健康保険特別会計	議第16号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	公共下水道事業特別会計	議第17号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	農業集落排水事業特別会計	議第18号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	寒河江ダム周辺施設管理事業特別会計	議第19号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	後期高齢者医療特別会計	議第20号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	介護保険特別会計	議第21号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	宅地造成事業特別会計	議第22号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
企業会計	病院事業会計	議第23号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)
	水道事業会計	議第24号	可決 (全員賛成)	可決 (全員賛成)

一般質問

そこが聞きたい

6人の議員が町政をただす

町政全般の課題等について町の考え方や疑問をただすのが一般質問です。議会だよりでは、質問と答弁の内容を要約してお伝えしています。
※下記の質問事項のタイトルは掲載ページの見出しを記載しています。

質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員 P11
 - 1 災害に強い安全・安心なまちづくりについて
- 菅野 邦比克 議員 P12
 - 1 商工観光課職員の観光協会との兼職を解く予定は
- 大泉 奈美 議員 P13
 - 1 まちおこしの更なる推進を
- 佐藤 仁 議員 P14
 - 1 コロナ禍における町民の安全と経済への支援は
 - 2 小・中学校のデジタル化について
- 佐藤 耕二 議員 P15
 - 1 新型コロナウイルスワクチン接種の対応は
 - 2 令和3年度予算と第6次西川町総合計画との関連性は
- 佐藤 光康 議員 P16
 - 1 大雪で危険な空き家の対策を
 - 2 3年度のデマンド乗り合いタクシーは



▲マイクスタンド補助台



▲パーティション越しに答弁する町長

議場内に西山杉の香り

今回の定例会から議場内に2種類の西山杉製品を導入しました。
マイクスタンド補助台
議会のネット中継の音声聞き取りにくいとご指摘がありました。感染予防のマスクを着用している影響もありましたが、起立した場、発言者の口元からマイクまでの距離が少し遠かったため、マイクスタンドを嵩上げする補助台を西山杉で製作しました。

パーティション
新型コロナウイルス感染症対策として飛沫防止対策のパーティションを、西山杉で枠を作り、議場内の議長席、町長席、正面演壇、議員側演壇の4カ所に設置しました。

災害に強い安全・安心なまちづくりについて

町長 消防団や自主防災組織の充実等に努めていく

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、毎年のように豪雨・豪雪・地震などの自然災害が発生しています。災害に強い安全・安心なまちづくりについて質問します。

消防団組織の運営

消防団の体制はどうなっていますか。

答 定数300人に対し、女性団員19人を含め261人で、39人不足しています。

問 団員報酬の状況と基準はありますか。

答 西村山1市4町で一番低い年1万6000円です。交付税による基準は3万6500円です。

防災活動や地域活動に努めている消防団員報酬を改善すべきではありませんか。

問

答 今後、改善に向けて検討します。

問 可搬ポンプの機動力を向上するため、軽車両を配備すべきではありませんか。

答 機動力を高めるよう検討します。

自主防災組織

問 自主防災組織や避難所の備品等充実すべきではありませんか。

答 コロナ禍でも対応できるように整備していきます。

問 自主防災組織が活動できるための訓練や指導者となる防災士の養成を行うべきではありませんか。

答 訓練支援や防災士の養成に努めていきます。

国土強靱化対策

問 国土強靱化対策に係る地域計画を策定すべきではありませんか。

答 令和3年度に取り組んでいきます。

問 災害復旧工事について、現況の復旧だけでなく、災害防止対策も一緒に実施できるように国や県に要望すべきではありませんか。

答 今後も国、県へ要望を行なっていきます。



荒木 俊夫 議員



▲平成31年度春季消防演習での火災防御訓練



▲吉川地区の防災訓練 (令和元年度)



菅野 邦比克 議員



商工観光課職員の 観光協会との兼職を解く予定は

町長 事務所を他所へ移し、兼務しない

一般社団法人月山朝日観光協会は非営利型課税法人で営利事業もしています。その協会の職員を公務員が兼務することや事務所移転について質問をします。

問 観光協会の法人格
一般社団法人月山朝日観光協会の法人格はどのようになっていますか。

答 非営利型の課税法人です。

問 事務所の移転はどのようになっていますか。

答 令和3年4月1日付で移転できるよう準備を進めています。

職員の兼務

問 兼務発令は一般社団法人月山朝日観光協会長からのものであると12月の定例会で答弁されましたが、人事権は町長にあるのではないですか。

答 町からの発令はしていません。

問 職員が勝手に観光協会の事務局長を兼務したり、職員を兼務したりしているのですか。それを黙認していたのですか。

答 町の観光振興に協力して取り組むという意味を込めて兼務発令が行われていたものと認識しています。

問 労務災害にはどう対応しますか。

答 町が給与を支払い、公益事業に従事していることから、観光振興業務として公務災害を適用します。

非営利型の課税法

問 非営利型の課税法人である観光協会が収益事業も行うのであれば、町職員の兼務は誤解を生む恐れがあるのではないのでしょうか。

答 観光協会として新年度の4月からは兼務発令を行わないと聞いています。

問 今後、他の民間企業からの兼務発令を受け入れることはありますか。

答 今後、他の民間企業からの兼務発令を受け入れることはありません。

ホームページ

問 町のホームページのトップに民間企業である観光協会へのリンクが貼ってあります。再考すべきではありませんか。

答 現在の、台湾出身の地域おこし協力隊員1人が協会業務に従事していますが、観光面でさらに採用する予定はありません。

答 考えていません。



▲道の駅にしかわ内に移転した観光協会新事務所入口

まちおこしの更なる推進を

町長 ふるさとづくり寄附金制度を強化していきたい

令和3年度の予算方針では、新型コロナウイルス感染症対策や昨年の7月豪雨災害への対応など厳しい状況にあるとされています。コロナの終息が見えない状況において、第6次総合計画をさらに推進するために次の質問をします。

収支報告は

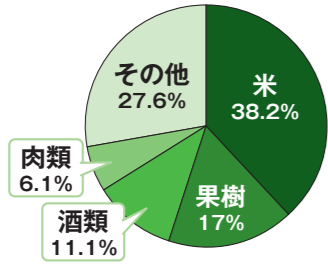
問 「ふるさと納税」をしてくれた方に対して収支報告をしていますか。

答 今後収支報告についてはホームページ上でわかりやすく掲載していきます。

人気の順番は

問 返礼品の人気商品はなんですか。

答 米の人气が最も高く、40パーセントの割合で選ばれています。以下、表のとおり



納税総額 4700 万円 (令和 3 年 1 月中旬)

広報紙掲載見直しを

問 町の広報紙でふるさと納税の状況を紹介し、インターネットを見ることができない町民にお知らせしてはどうですか。

答 昨年の10月号に掲載していますが、取り扱いは紙面のごく一部です。今後どのような掲載が有効であるか検討していきます。

積極的に交流を

問 町出身の方と社会教育や学校教育などで関わりを持つような交流を試行してはどうですか。

答 今後の検討課題と考えます。

問 人材育成を推進するために、民間と連携し今後の施策に活かしてはどうですか。

答 まちづくりは町民や町内事業者に潤いをもたらすことが重要です。民間の意見に町が寄り添い、後押しして振興を図ることで町全体につながります。このような考え方で、今後も協働のまちづくりを進めていきます。

大企業との協定を

問 西川町地域の市町の大企業と災害対策やスポーツ振興など様々な項目で連携し、協定を結んでいます。本町もアウトドアメーカーと提携して月山湖周辺を活用したまちづくりに力を入れてはどうですか。

答 今後企業版ふるさと納税の制度を構築したいと考えています。国の制度を活用し、その中で検討していきます。



◀西川町ふるさと納税返礼品のパネルアート



大泉 奈美 議員



佐藤 仁 議員

コロナ禍における 町民の安全と経済への支援は 町長 町民の安心安全と 経済再生を最優先に



新型コロナウイルス感染症が確認されてから1年以上経過しましたが、今後医療や介護等についてどう対応し運営していくのかお聞きします。

問 町立病院の運営方針は
昨年度と比べて、入院や外来収益の割合と昨年9月に導入した地域包括ケア病床の延べ入院者数、そしてPCR検査状況はどうなっていますか。

答 1月末比較で入院が99パーセント、外来が89パーセント、ケア病床は2月末で814人となっています。PCR検査は16人が受けています。

問 県はPCR検査を3月末から河北病院で行います。町立病院は山形県を中心に位置し交通の便も良いことから、県と一体となった検査体制を整備してはどうですか。

答 県と協議し検討してみます。

問 コロナ禍で医療崩壊が起きている地域もあり、公立病院の重要性が認識される中国では統廃合を進めています。今後の町立病院の運営方針をどのように考えていますか。

答 西村山地区の4病院との連携を検討しながら堅持していくことを前提に、より良い医療を提供していきたいと思っています。

問 公立病院の赤字は全国的なものです。平時は赤字でも、有事（疫病や災害時）の時に使命を果たしてもらう考えのもと、国策としての財政支援を要望すべきではありませんか。

答 地域医療連携を促すために赤字減少に努め、国や県に要望しつつ町民の安心・安全の基として運営をしていきます。

小・中学校のデジタル化について 町長 1人1台の端末を整備し 有効活用を図る

問 デジタル化の検討は
端末の整備に1691万円かかっていますが、今後の更新時の費用は町が負担するのですか。

答 国の方針が決まっていなため未定です。

問 児童生徒のデジタル教科書はいつから使用するのですか。

答 現在は有償のため無償になるまで使用しない予定で、令和3年度は使用しません。

問 デジタル端末の過度な使用による健康被害等も心配されます。運用方法の検討が必要ではありませんか。

答 国から示される基準に沿って検討の上、運用していきます。



▶導入されたタブレット端末

新型コロナワクチン接種 の対応は 町長 実態に即した対応を行う



新型コロナウイルス感染症の終息にまだまだ見通しがつかない中、感染対策やワクチン接種に関し、町の現在の進捗状況と対応を聞きます。

問 陰圧ハウスの利用状況はどうなっていますか。

答 昨年末からPCR検査や抗原検査を行い、今後も発熱外来に活用していきます。

問 ワクチン接種
須貝院長は、ワクチン接種を医学的見地からどのように捉えていますか。

答 病原体の侵入前に人工的に積極的に免疫を付けることが予防接種であり、その目



▲陰圧ハウスの内部

的は感染症にかかりにくくなること、かかった場合に重症化を防ぐことです。

一人ひとりの免疫力が高まると、集団免疫で高齢者施設等の感染も防げます。接種部の腫れや発熱など軽度の副反応はどのワクチンでも見られます。重篤な副反応（アナフィラキシーショック）には十分な態勢をとりますので、できるだけ多くの町民がこのワクチンを接種してほしいと思います。

接種場所は町立病院と保健センターを考慮しています。

問 優先順位
町の医療従事者等の人数はどれくらいですか。

答 医療従事者は93人、65歳以上の高齢者は2375人、高齢者施設従事者は130人です。

問 ワクチン接種の優先順位は町の特性を考慮し、医療従事者、高齢者施設従事者、65歳以上の高齢者の順にできませんか。県は特例もあり得ると言っています。

答 現在は国の指示どおりで考えていますが、実態に即した体制も考慮します。

3年度予算への町長の想いは 町長 みどり団地の2期造成を

問 3年度は町長3期目の最後の年です。予算編成を終えて町長の決意と抱負はどのようなものですか。

答 定住人口の維持確保、コロナウイルス感染症対策、豪雨災害の復旧、健全な財政運営の維持の4本の柱で編成しました。

中でも町の歴史上最大級の、昨年7月の豪雨災害からの復旧を最重要課題としています。また、定住人口の維持確保についてはみどり団地の2期造成に着手します。町民の健康づくり、産業振興、地域づくりや人材育成にも力を注いでいきます。

安全・安心のために

令和3年初の議会となる第1回臨時会を2月12日に開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症や豪雨災害、除雪などの各種対策にかかる補正予算を審議し、全て全員賛成で可決しました。
また、新型コロナウイルス感染症に関する町議会の決議も可決しました。

令和3年 第1回 臨時会

【補正予算】 (万円単位表示にするため千円以下の端数を調整)

議案番号	会計	補正の主な内容 (詳細は欄外参照)	補正額	補正後の予算額
議第1号	一般会計(第9号)	①新型コロナ感染症対策 3530万円 ②豪雨災害対策 1億7375万円 ③除雪対策 6720万円 ④上記以外 4424万円	3億2049万円	66億8579万円

- ① PCR検査助成事業委託料100万円、ワクチン接種事業費3210万円ほか
- ② 町道各路線の公共災害復旧工事1億7275万円ほか
- ③ 社会資本整備総合交付金事業の町道除雪委託料▲4,700万円、町単独事業の町道除雪委託料等1億1420万円
- ④ ふるさと納税の増加に伴う事業費2493万円、町社会福祉協議会事務局長の雇用に伴う補助金40万円、道路や橋の補修等工事費1852万円、町民スキー場ナイター照明修繕料39万円

【その他】

議案番号	件名	主な内容
報告第1号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告	スクールバスの交通事故について、過失割合に基づく損害賠償の額の決定を専決処分したことを報告する。
発議第1号	誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議	新型コロナウイルス感染者等への誹謗中傷を問題視するとともに、町民全体で支え合いながら目の前の困難を克服することを西川町議会として宣言する。(下記参照)

誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより 新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、山形県においても11月から感染者が急増しています。その中であって、町民は、感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、私たちが永い間培ってきた「思いやり」や「やさしさ」という美しい文化を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

よって、西川町議会は、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナの諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、町民の皆さまにおかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えてまいります。

以上、決議する。

令和3年2月12日

西川町議会

大雪で危険な空き家の対策を

町長 町が適切にお願い、指導する



佐藤 光康 議員

今年の冬は大雪となり、西川町豪雪対策本部が設置されましたが、町民の暮らし、生活にも深刻な問題が生まれています。
町内の大雪の被害状況やこれからの対策について質問します。



▶海味温泉西側の空き家

問 屋根に積もった大雪で、通行する方に危険な事案が4件の1件にあたります。町では雪下ろしをするよう指導書を出し、すでに雪下ろしが終了しています。

問 2月14日付けの山形新聞に、町内の空き家に大量の雪が積もった写真と「安全確保のため何とかならぬか」という住民の声が掲載されました。町はどのような対応をしたのですか。

早急な対策を

問 子どもたちの通学路に危険な空き家があり、大雪で倒壊したこともあります。子どもたちの安全のために、町は緊急措置をすべきではありませんか。



◀倒壊したケーシーフレームの倉庫

答 これから大きな課題になってくるのが不在法人の事業所、跡地への対応です。空き家対策等基本計画などの検討を進めて、近隣の方に注意を呼びかけながら、旧法人の連絡先には文書等でお願い、指導をしています。

問 危険な空き家の除去に町が何らかの支援をすべきだと考え、今後検討していきます。

問 空き家を除去するため、他の市町村と同じように、解体除去補助金制度を作るべきではありませんか。

問 支援をしていますが、実際に住んでいなければ該当しないなどの問題点があります。検討すべきではありませんか。

答 高齢者施設へ入所しないことになっていきますので、生活拠点から見直したいと考えています。

問 令和3年1月現在デマンド乗り合いタクシーの実証運行について質問します。

答 令和3年度に実施した、デマンド乗り合いタクシーの実証運行について質問します。

問 実証実験の結果と3年度からの運行計画はどうなっていますか。

答 令和3年1月現在デマンド乗り合いタクシーの実証運行について質問します。

町長 さらに地域や便数を追加 3年度のデマンドタクシーは



▲議場でモニター越しの講演に聞き入る議員

西川町議会 議員研修会

2月8日、議員研修会をオンライン形式で実施しました。今回は、全国の地方議会議員などを対象に開催されたローカルマ

議会改革の新たなツール オンラインの可能性を探る

ニフェスト推進連盟主催のオンライン研修会に議員全員が参加し、新型コロナウイルス感染症対策として全国の地方議会に広がっているオンライン会議について学びました。第1部は、早稲田大学の北川正恭名誉教授と法政大学の廣瀬克哉

教授（4月1日から同大学総長）の基調講演が行われ、続いて、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長から、昨年11月に行われた「コロナ禍における議会のICT活用調査」の結果を踏まえた、全国の地方議会におけるオンラインの活用状況が報告されました。第2部は、全国でもいち早くオンライン会議を議会活動に取り入

れた茨城県取手市議会の議員と同市議会事務局の皆さまによる事例報告が行われました。この研修で全国の地方議会の状況や、最先端の事例などを学ぶことができました。本町議会においても緊急時のオンライン会議の導入やタブレットPCの活用などについて今後検討を行うこととしていきます。

議会傍聴のご案内

次期定例会は
6月です

(6月7日からの予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため以下の対策にご協力ください。

- ①マスクの常時着用
- ②手指消毒の徹底
- ③座席の間隔の確保

常任委員会 活動報告



▲月山紡績で初めて目にした機械に興味津々

産業建設常任委員会では、令和2年度の所管事務調査を踏まえ、町の取組みの成果を確認するための追跡調査を2日間にわたって行いました。その一部を紹介いたします。

取組みのその後を確認 産業建設常任委員会所管事務調査から

月山紡績株式会社
吉川地区に社屋を構える月山紡績株式会社は、平成28年度から30年度まで町の事業所設置奨励金を交付された企業です。同社は、寒河江市の佐藤繊維株式会社グループ会社として26年8月に設立されました。現在20人の従業員の皆さんが働いています。事業の内容は梳毛紡績（そもうぼうせき）で、羊毛を原料に梳毛（長い繊維をより分け、すいて縮れを伸ばし平行に並べる作業）を行なった後、毛糸に紡ぐのだそうです。

北日本の中でも同社にしかない機械や技術などがあり、しっかりとしたポリシーに基づき戦略的な事業の説明を受け、今後もその展開に大きな期待を持つことができました。

月山スノーランド

弓張平地域に今冬からオープンした月山スノーランドは、月山山麓の雪原などを活用した各種の雪遊びが体験できるエリアです。この取り組みを開始するにあたり、町は雪上運搬車を購入（議会日より113号17ペー



▲雪上運搬車のツアーに出かけるお客様

ジ参照）し、運営主体である「月山冬の誘客推進協議会」に無償貸与しています。新型コロナウイルスの影響でインバウンドのお客様が全く見込めない状況ですが、町外から毎週のように遊びに来られる方々もおり、来シーズンへの期待が大いに高まったところです。

3年連続入選 議会広報表彰

2年度の第26回山形県町村議会広報コンクールにおいて、西川町議会日より113号が入選作品に選ばれました。これで3年連続での入選です。

コンクール入選を指すことが議会広報づくりの目的ではありませんが、一定の評価を得たことは大きな励みです。今後とも町民の皆さまから「手に取ってもらい、開いてもらい、読んでもらえる」議会だよりの充実に努めます。



▲文書アドバイザーの新宮隆子さんと広報公聴常任委員

議会の動き

議会全員協議会

- 1月26日 令和3年度事業計画ほか
- 2月12日 令和3年度予算案内
- 3月5日 第9次西川町保健医療福祉計画ほか

議会運営委員会

- 2月5日 令和3年第1回臨時会の運営
- 2月12日 令和3年第1回定例会の運営

総務厚生常任委員会

- 1月26日 2～3月の行動計画
- 3月5日 請願の審査ほか
- 3月25日 政策提言回答検証

産業建設常任委員会

- 1月26日 2～3月の行動計画
- 2月10日 町内各事業所に関する事務調査
- 2月13日 月山スノーランドに関する事務調査
- 3月5日 政策提言回答検証ほか

広報公聴常任委員会

- 3月4日 議会日より116号編集会議
- 3月17日 入稿前編集会議
- 3月26日 第1回校正
- 3月31日 第2回校正(文書アドバイザーとともに確認)
- 4月5日 第3回校正
- 4月8日 第4回校正、校了

その他

- 2月8日 西川町議会議員研修会

知りたい!!聞きたい!!

～議会だより116号の アンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員からの回答とともに紹介します。



W.Sさん

【第4回定例会注目記事1を読んで】

月山湖水の文化館の施設運営等について掲載されていますが、施設の維持管理費には莫大な経費を要します。例えば「水にこだわったまちづくり」のコンセプトを維持しつつ、民営も含め今後の利活用について公募してみたいかでしょうか？クラウドファンディング等の利用も含め、広く一般にアイデアを募ることも有効かと思えます。

議会だよりに「プロジェクトチームが検討している」と掲載しましたが、その中ではアイデアがまとまらなかったと聞いています。町職員だけの検討でだめなら、ご提案のとおり民間などのアイデアを募集することも一つの方策と考えます。安易に廃止、解体などということにならないよう注視していきます。



S.Kさん

【政策提言を読んで】

行政評価を踏まえた提言内容であり、容易に理解できます。提言に関するフォローアップはどのようにされていますか？議会ホームページでは探せませんでした。

2月に政策提言に対する町からの回答があり、それをホームページの政策提言の後段に掲載していますので、ぜひご覧ください。この回答に対する議会としての取組みを今後の常任委員会等で検討した上で令和3年度の活動につなげていきます。



W.Kさん

【その他】

月山湖の1000mコース新設に伴う広報や競技誘致はどのような状況ですか。

日本カヌー連盟の公認コースとなることで全国に広まるようです。令和3年度には全国中学生カヌー大会や日本カヌースプリント選手権大会、全日本学生カヌースプリント選手権大会などが予定されていると説明を受けています。



ご感想を
お寄せください

西川町議会では10人の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いしています。アンケートで寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えしています。読者モニター以外の方もお気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ：74-2601 住所：海味510番地
メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

《発行・編集責任者》
議長 古澤 俊一
《編集委員》
委員長 大泉 奈美
副委員長 佐藤 光康
委員 菅野邦比克
委員 佐藤 仁

この一年はコロナ感染症や7月の豪雨災害、そして豪雪が重なり、町民の皆さまには大変な状況の中、各種対策にご協力いただいていることにより感謝いたします。

そんな中、令和3年3月の定例会では来年度当初予算案に対する審議を行いました。コロナ感染症対策、災害対策など財政的に厳しい状況の中での予算編成であり、各課からの説明及び議場における審議においては、昨年度以上に白熱した議論が交わされ、採決の結果予算が成立しました。災害やコロナ禍で大変な時ではありますが、「町民全員笑顔で一緒に町づくり」を進めて行きたいと思います。

(佐藤仁)

編集後記